

平成23年度 決算特別委員会（県民生活部）

発 言 者	発 言 要 旨
井上（航）委員	<p>1 広報は発信して県民に伝わることが大切である。地元の市民に聞いてみると市報は読んでいるが「彩の国だより」は知らない方が多く認知度は低い。県民がどの程度、彩の国だよりを読んでいるか調査はしているのか。県民にどの程度届いているかについての認識はどうか。</p> <p>2 広報事業の中でテレビ、ラジオ、電子媒体を合わせて3億3,000万円とあるが、媒体ごとの金額はどうか。また、広報テレビ番組「週刊彩の国ニュース」の視聴率はどのくらいか。</p> <p>3 女性チャレンジ支援について、セミナーなどを実施した成果をどの程度把握しているのか。これまでの成果と課題がどこにあるのかを認識した上で、今後、ウーマノミクスを推進すべきと思うがどうか。</p>
広聴広報課長	<p>1 「彩の国だより」は新聞折り込みで235万部配布している。調査については、この折り込み業者が1,000戸を戸別訪問して面接調査を実施している。その結果、平成22年12月号については、97%の方が読んでいた。また、県政サポーターへのアンケートを実施したが、66%の方が彩の国だよりを読んだとの回答があった。</p> <p>2 テレビについては、「週刊彩の国ニュース」を毎週土曜日に30分間放送しているが、経費は1億8,000万円である。視聴率は3.9%で人数に換算すると28万人となる。ラジオは月曜から金曜までの毎日10分間、年251回放送し、経費は3,700万円である。その他ラジオはTBSの堀尾正明さんの番組で毎週土曜日の朝7時45分から5分間県職員が出演し埼玉県をPRしている。ちなみに、東京都では同じような番組で9,000万円の経費をかけているが、本県は堀尾さんの好意もあり無料で実施している。また、ホームページについては</p> <p>1,200万円の経費をかけている。</p>
男女共同参画課長	<p>3 女性のチャレンジ支援については「いつでも、どこでも、何度でも」をキャッチフレーズに、就労、起業、ボランティアなど様々なニーズに対応している。ボランティアや起業の相談に対しては、関係する機関やセミナーを紹介しているが、数字としては把握していない。就労については、平成22年度は、特に希望する</p>

発 言 者	発 言 要 旨
男女共同参画課長	<p>200人を対象に担任制により支援し、そのうち85人が就職を含め進路が決定した。また、併せて女性キャリアセンターと連携しており、昨年度は女性キャリアセンターでは291人が就職した。今後は、ウーマノミクスの推進に向けて、子育て環境の整備、就労環境の整備、パートナーである男性の理解が必要ではないかと考えている。</p>
井上（航）委員	<p>1 県政サポーターへのアンケートで、「彩の国だより」を6割以上の方が読んでいるとの答弁があったが、県政サポーターは県政への意識が高い方であるため、一般の方の数字は更に低いと考えられる。「彩の国だより」は県民の関心と呼び、読みたいと思うような魅力ある紙面づくりが必要と思うが、どのように考えているか。</p> <p>2 「週刊彩の国ニュース」は、昨年5%台の視聴率であったが、3.9%に下がった。テレビについてもより多くの県民に見てもらえるような番組づくりが必要であると思うが、どのように考えているか。</p>
広聴広報課長	<p>1 「彩の国だより」は、まず手に取って読んでいただくことが大切である。県がよい政策を行っていても周知されていなければ意味がないので、観光のような興味ある情報とセットにするなど、県民の皆さんが読みやすい紙面づくりを心掛けている。</p> <p>2 テレビ埼玉全体の視聴率も2.5%に落ちている。特にレッズやライオンズの不振も視聴率低迷の原因のひとつではないかと考えている。視聴率のアップに向けて県全体を盛り上げていくような番組構成を心掛けている。また、様々な媒体を使ったメディア・ミックスの方法で、若い人にはウェブで、高齢者には紙面でなど、それぞれの県民に適した方法で分かりやすい広報を行っていきたい。</p>